

とかちロングトレイル 大平原をあるく100KMの旅

NPO OWLS

TOKACHI LONG TRAIL

十勝を歩いて旅をしよう！
かつて夢見た大平原の一部
になって100KM走破を目指す。



2008年
10月25日
紅葉が始まる頃清水町
の「十勝千年の森」を中
心に展開した

夏のトレイル 十勝千年の森～丸山展望台

平成20年10月24日（金16：00～19：00）

とかち館

基調講演

トレイルから考えるこの国のデザイン（社）日本環境教育フォーラム理事長 岡島成行
国の観光政策とランドデザイン観光庁観光地域振興課課長補佐 武田一寧

記念講演

アメリカのトレイル・日本のトレイルバックパッカー・ネイチャーライター 加藤則芳

話題提供

歩いて旅して見えてくるもの バックパッカー・フリーライター シェルパ齊藤

歩く時代の観光マーケティング アウトドアコンセプター・ジャーナリスト 中村達

ディスカッション

コーディネーター NPOコミュニティシンクタンクあうるず専務理事 菊池貞雄

夏の実験トレイルトレイル2月21日

前日はアメリカのアパラチアトレイルを走破した加藤則芳さんやシェルパ齊藤さん、中村達さんから十勝を歩いて楽しむ旅の可能性を評価してもらいました。

実験トレイル当日は紅葉をはじめた清水町「十勝千年の森」に集合しました。愛犬との参加者もあり、また小さ

なお子さんの参加もあり、楽しい12kmの旅にでかけました。天候もよいことも手伝ってもらい、負担を感じることもなく楽しく12kmを歩くことができました。愛犬にも負担が少なかったようです。



冬のトレイルヨークシャーファーム～然別湖

ロングトレイルシンポジウム2月20日

基調講演「信越トレイルでの取り組みについて」

NPO信越トレイルクラブ代表理事 小山邦武
話題提供「日本と自然のかかわり」

(社)日本環境教育フォーラム理事長 岡島成行
話題提供「森林療法の効能」

中頓別町国民健康保険病院院長 住友和弘

パネルディスカッション

アウトドアジャーナリスト

BE-PAL編集長

十勝ロングトレイル推進協議会

十勝千年の森

コーディネイター

中村達

酒井直人

山田英和

林克彦

菊池貞雄



ヨークシャーファームの羊たち



凍結した然別湖上を渡る



然別コタンでのコンサート



ウィンタートレイル2月21日

旅行パッケージ商品としての可能性について検証する。旅行会社とNPOあうるずが共同で企画し、旅行パッケージ商品の主催者は旅行エージェント、現地でのコーディネートをNPOあうるずが担うことで、地域の担い手事業者の活動を支援する。

日時：1日目2月21日10時スタート

2日目2月22日午前9時スタート

ルート：1日目 旧狩勝線ぼっぼの道

(新内～そばの里 約6 km) 約2時間

2日目 然別湖横断氷上トレイル(然別

湖畔～東雲湖 約8km) 約3時間

ウィンタートレイルは、札幌圏を中心とした一般のツアー参加のみなさんと地元参加者を含め36名による2泊3日の冬バージョン。

地吹雪の中、参加者は少し不安を抱きつつスタート。しかし次第に天候は回復しいつしか青空に。旧狩勝線コース

は地元のみなさんがガイドを務め、参加者の嬉々とした楽しそうな姿に、冬は眠るのが常識だった散歩道が立派に観光資源として活かせることを確信した。

昼食は、十勝千年の森のレストラン“キサラ”の馬淵シェフ自らが目の前で鹿肉などを調理、雰囲気も良く大好評。もちろん地元の食材を使ったメニューで皆舌鼓。

然別湖では、すっかり有名になった氷の世界“コタン”を堪能。玄関の冬の寒さをものともせず、スノーモービルだ演奏会だと寸暇を惜しんで遊びに飛び出す大の大人たち。実に楽しそう。凍った湖を横断し、静かな森の中、狭い木々の間を抜けていく・・・そして目的地東雲湖へ到着。雪の大自然で飲むコーヒーは格別。参加者からは「また十勝に来たい」「とてもよかった」との賞賛をいただきました。



2009年

2月21日

ウィンタートレイル開催